

医師会と住宅産業が連携フォーラム

「住宅政策に医療を、医療政策に住環境を」と題した住宅産業健康経営フォーラムが10月6日、都内で開かれた。政府が地域包括ケアシステムや「健康寿命の延伸」を推進する中で、健康・医療と密接に関係する住宅の在り方が問われている。これまでなかった医療界と住宅産業が連携した初めての試みだ。

デスク 確か主催が日本医師会、日本居住福祉学会、埼玉県住まいづくり協議会で、これまででないメンバーだったと思うが。

記者 居住福祉学会が仲立ちをして医師会と住宅産業界を結び、一緒に「住環境改善による国民の健康長寿の延伸」に取り組みと企画したものです。政府が健康関連産業を「健康長寿産業」として育成するようですが、住宅産業も関係します。日本医師会は既に経済団体と「日本健康会議」を発足させ、経済産業省の健康経営に取り組みなど積極的な動きを見せています。

デスク そのフォーラムの内容はどつだった。

記者 まず日本医師会の村聡副会長が基調講演し、①

でリブラン長の鈴木静雄さん、ドムスデザイン代表の戸倉孝子さんだったね。

日本医師会のこと、②地域包括ケアシステムと健康寿命の延伸、③住宅と健康の関係、④健康寿命延伸に関する国の施策、⑤健康寿命延伸に係る

健康寿命で住環境改善焦点に

日本医師会の取り組みについて解説。「超高齢社会に向けてこれまで以上に住環境を良くしていく必要がある」と、このころからの医師は高齢者の診察だけでなく、その住環境にもアドバイスできるような視点を持つ必要があることを強調していました。

デスク パネルディスカッションは今村さんに、居住福祉学会の早川和男会長、埼玉

県住まいづくり協議会副会長

覚書の今日バージョンのポイントとして、①光と風、②味気ない家から感性の育つ家へ、③色気がある一の3つを挙げ、「幾つになっても色気は大切」とし、「住宅にはぜひ、全身が映る鏡を入れてほしい」と提案しています。

記者 早川さんは、「健康で人間にふさわしい住居を求めて」と題して、居住基準の必要性、旧西独での不適格基準住宅での居住禁止と改善命令の例、元保健師を活用する米仏の事例を紹介した後、国家資格としての「居住福祉師」の創設を提唱しました。鈴木

さんは、これまでの不動産・住宅産業は「建物が主役で、人間不在だった」と振り返り、「住宅産業は居住福祉産業の時代に入った。住居の本質、人間の側に立てば市場は無限」と強調していました。

戸倉さんは「環境で人間再生」と題して、看護師から独学で一級建築士になり、マンションや病院建築を手掛けてきた自らの足跡と考え方を映像を交えて紹介。また、看護

士と題して、看護師から独学で一級建築士になり、マンションや病院建築を手掛けてきた自らの足跡と考え方を映像を交えて紹介。また、看護

士と題して、看護師から独学で一級建築士になり、マンションや病院建築を手掛けてきた自らの足跡と考え方を映像を交えて紹介。また、看護



記者 今村さんの講演の中で出ました。バリアフリーは転倒・骨折予防になることは判断は違ってくるため、家は「誰を基準にするかで難しい」と話していました。デスク 住宅の改修をど

り参加の経産省・江崎禎英ヘルスケア産業課長は「誰を基準にするかで難しい」と話していました。デスク 住宅の改修をど

◎10月は住生活月間  
◎10月は土地月間  
10月12日(水)  
◎国土交通省が「公的不動産(PRE)の民間活用セ

ナー民間による不動産証券化手法等への対応」(東京都品川区、日本総合研究所大崎第三オフィス)  
10月13日(木)

が住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 兵庫」を開催(神戸市中央区、ホテルクラウンパレス神戸)  
10月16日(日)  
◎宅地建物取引士試験  
10月18日(火)  
◎日本ビルディング経営センタ

どん 買います!!  
東京23区・横浜・川崎  
駅8分以内、アパート・長屋用地  
突き当たりの土地、  
道路付けの狭い土地、大好きです

Luckyline  
ラッキー株式会社  
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-3  
橋和屋東京ビル3階  
TEL:03-6805-2726  
FAX:03-6805-2756  
www.lucky-investment.com  
東京都知事(特)第94081号 東京都知事許可(特-28)第144617号